

仕 様 書

PACSシステム画像保存領域増設

平成 30 年度
済生会松山病院

1 基本事項

PACSシステムに保存されている画像領域を増設すること。また現在のPACSサーバとの連携等も変わらず行えること。

2 仕様内容 PACSシステム画像領域増設については以下の要件を満たすこと。

- 2-1 ハード障害発生時にも画像の書き込み、参照、Q/R通信等に影響が出ない構成であること。
- 2-2 画像保存領域は実効容量16TB以上であること。
- 2-3 バックアップするNASサーバも同等の実効容量準備すること。
- 2-4 1000BASE-T (Gigabit Ethernet) インタフェースを有し、通信プロトコルはTCP/IPとすること。
- 2-5 停電時に5分間以上のサーバへの電源供給が可能である無停電電源装置を有すること。
- 2-6 19インチラックへ格納すること。
- 2-7 バックアップは自動化されており、定期的に行なうことができること。また、バックアップ中でもシステムが停止せず、通常の業務を行うことができること。
- 2-8 DICOM対応モダリティで発生した画像を、可逆圧縮（RLE圧縮・LossLess圧縮など）して保存する機能を有すること。
- 2-9 受信したDICOMタグ情報は全て忠実に記録保存する機能を有すること。
- 2-10 受信したDICOMタグ情報にモダリティの種類や部位が存在する場合、そのモダリティの種類や部位を元に情報を分類してデータベースに登録する機能を有すること。
- 2-11 各モダリティおよび読影端末からのクエリーに対して、画像を送信する機能（Query/Retrieve サービスクラス）を有すること。
- 2-12 DICOMに既定されるStorage Service ClassのSCU及びSCPとして画像の保存に対応する機能を有すること。DICOMに規定されるQuery/Retrieve Service ClassのSCPとして画像の問い合わせ、検索に対する機能を有すること。
- 2-13 DICOM画像サーバに保存されたデータについて、結合、分割、内容の修正を行なうアプリケーションを有すること。ただしデータの修正は、原本は変更せずにデータベースを修正する方式とし、修正履歴の管理機能を有すること。

- 2-14 ISMS 又はプライバシーマーク認証を取得している企業の製品であること。
- 2-15 システムは 24 時間 365 日の安定した連続運用が可能であること。
- 2-16 障害時の迅速的な対応の為、今回提案するシステムは、一社で自社開発品にて供給出来ること。

以上